

# 北海道建築士

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2022.05.No297

5月号

## 目次

2022年北海道建築士会 まちづくり会議	1
特集 特別活動事業計画	2
技術ノート (CPD自習型認定研修)	4
新入会員紹介	6
Coffee Break	7
information	8

URL <https://www.h-ab.com/>

## 2022年北海道建築士会まちづくり会議 「ウイズコロナ・ポストコロナのまちづくり活動・ 建築士会活動を考える！」

まちづくり委員長 清水浩史 (札幌支部)



2022年3月12日、「2022年北海道建築士会まちづくり会議」を開催しました。

この会議は、日本建築士会連合会まちづくり委員会が進める防災／歴史／景観／街中（空き家）／福祉／木のまちづくりの6つの部会活動を受け、北海道建築士会として、この6分野を意識したまちづくり活動を推進するため、4年前から開催しているものです。

今回は、コロナ禍により様々な活動に大きく制約を受けている現状の課題を共有するとともに、その中でも前向きに楽しくまちづくり活動を推進していくためのアイデアを参加者の皆様と共に考えました。

第1部では、建築士会におけるまちづくりに関わる情報共有及び情報交換を行いました。前半は、まちづくり委員会からの報告として、私から委員会活動の紹介と今後の活動方針について報告しました。

次に、2月19日にオンラインで開催された「全国まちづくり会議・まちづくり委員長会議」にて、「地域まちづくりへの問題提起と実践」をテーマとして講演された全国のエリアリノベーション事例などについて、松本副委員長から報告しました。



全国まちづくり会議講演表題

後半は、「まちづくり活動事例集」に掲載されている支部の活動事例のうち、4支部の活動について情報提供をいただきました。(北海道建築士会ホーム

ページのまちづくり委員会ページをご参照ください。)

第2部では、ZOOMブレイクアウトルーム機能を活用して4グループに分かれ、コロナ禍でも前向きに楽しく活動を推進していくためのアイデアや、コロナ禍を経験したからこそその新たな活動の可能性など、グループディスカッションを行いました。

まず、コロナ禍により様々な活動に大きく制約を受けている各地域のまちづくり活動や士会活動の現状と課題について情報交換を行いました。その後、面白法人カヤックのブレストカードを使用して、「ウイズコロナ・アフターコロナのまちづくりイベント」を題材としてブレインストーミングを行いました。

そして、ディスカッションの後、各グループから、ユニークで楽しいアイデアが発表されました。実際に実現したい企画が数々提案されましたので、今後の活動に活かしていきたいと思っています。参加いただいた皆様、ありがとうございました。なお、各グループの提案は別途ホームページで公開します。



発表

ブレストカード

今回もオンライン開催でしたが、実り多いものとなりました。広い北海道、気軽に集まることは難しくても、オンラインをうまく活用することで、コロナ前よりも活発な活動ができるのではないのでしょうか。今後もまちづくり委員会では、「ポストコロナのまちづくり活動・士会活動」に向けて試行錯誤していきます。また、各委員会、支部などとの連携強化にも取り組んでいきますので、皆様のご協力をお願いします。

# 70周年記念シンポジウム開催について



シンポジウム部会長 山下吉己（釧路支部）

北海道建築士会が創立された年と同じくして釧路支部も誕生し、本年70周年を迎える事となりました。その記念事業を実施するに際し、特別活動費の助成を頂く事となりましたことに心から厚く御礼を申し上げます。

さて、釧路支部では70年の建築のあゆみを振り返る展示を行うのと併せて、釧路のまちの「これから」を考えるシンポジウムを行う事にいたしました。

展示の事業において、これまでの「まちのあり方」「地域の建築の歴史」や「人々の暮らし」を振り返ると同時に、シンポジウムでは、未来に目を向け、建築士としてどのように地域のまちづくりに貢献して行けるのかを釧路市民とともに考えてまいります。

シンポジウムといっても、ステージにパネリストが並ぶ形式ではありません。

まちづくり会議の講師などで建築士会の会員にはお馴染みの木本晃氏（株式会社北海道二十一世紀総合研究所調査部・特任審議役/北海道の観光を考えるみんなの会会長）を講師に迎え、「(仮称) 求む、挑戦者。まちづくりBIG BOSS 木本晃への挑戦！」と題し、釧路駅周辺の再開発を中心に、まちなかの問題をぶつけ、打開策を来場者とともに考えて行く、前代未聞のトークセッションを行いたいと考えております。

内容としては、空きビル、空き店舗も目立つ北大通り中心市街地の衰退を打開するためにも、建て替えが予定されている釧路駅及び中心市街地について、釧路市民が「どうしたい」かを、あらゆる角度から意見を募り、市民の意見としてまとめ上げて行こうと言うものです。まだまだ詳細は決まっておらず、内容や手法が変更になることもあるかもしれませんが、建築士会が釧路駅を、まちを変える切り札として、市民の意見を「建てる側」に届ける機会をつくり、まちづくりの旗手となるべく、釧路市内外の多くの方々へアピールをしております。

2022年7月9日(土) 16時より70周年記念式典・祝賀会が釧路センチュリーキャッスルホテルにて開催予定ですが、その前段として「シンポジウム(トークセッション)」は同日、同会場で13時半から15時半の時間帯で計画しております。

特別活動費を有効に活用させて頂きたいと、スタッフ一丸となって取り組んでまいります。

全道の会員の皆様も初夏の道東観光と合わせて是非、お運びください。

釧路でお待ちしております。

■事業構想編に基づく釧路駅周辺南側のイメージ  
(釧路市ホームページより画像出典)



# 70周年記念「釧路の建築70年あゆみ展」



あゆみ展部会長 前田 繁（釧路支部）

釧路支部は創立70年を記念して二つの大きな事業を実施する事となりました。一つはシンポジウムの開催、もう一つは、この「釧路の建築70年のあゆみ展」です。

創立40周年の記念誌発行以降、記念事業を大々的に実施してきませんでした。70年を節目として支部の「あゆみ」だけではなく、地域の歴史を振り返り、釧路の建築や人々の暮らしがどのように変化してきたかを辿ってみることにしました。

現在、釧路市では駅舎の高架化が検討されており、それを契機に中心市街地交通整備などを進めるとともに、まちなかの再開発について大きな計画が浮上しています。人々の移動手段が鉄道主体から航空路線や高速道路へと分散していく中、駅が存在が薄れつつある事から、駅が存在自体を見直すきっかけになればと、釧路駅二階の大きなギャラリーを展示会場としてお借りする事になりました。

展示内容については、目下、詳細を詰めているところですが、釧路の産業を担ってきた炭坑や製紙会社の社宅間取りや、市営住宅など公営住宅の変遷、一般住宅がどのように変化してきたのかを、写真や平面図を通して感じてもらう「住まい（間取り）のあゆみ」の展示、ユニットバスの元祖ともいえる「ほくさんバスオール」やシャワートイレ、システムキッチンなど一部、実物の展示を含めて、変わり続ける住宅設備について紹介する「住宅設備・建材のあゆみ」、昔、使用されていた大工道具など、貴重な資料を職人の解説を交えて展示を行う「職人・道具のあゆみ」、手書きの時代から二次元のCAD、そして三次元へと進化が進んでいる「建築設計のあゆみ」は、手書き時代（昭和）の設計事務所の雰囲気味わえるコーナーなども設置し、製図における移り変わりを紹介します。

「建築士会釧路支部のあゆみ」では、古参の会員や建築士会OBの方にもご協力いただき、青年部設立当時の様子や、思い出深い実施事業にまつわる出来事を写真等でたどり、今となっては、亡き諸先輩方の残された貴重な事業資料の展示や、支部の歴史を年表化した展示など、釧路支部とは関係のない方が見ても、時代の流れを感じ、興味を持っていただけるようなものをご用意したいと計画しております。

更に近年、建築業界の後継者不足が大きな課題であるため、建築系の学校とも連携し、学生作品の展示や、今年度より始めた釧路支部が設ける表彰制度についてのご紹介も致します。

展示品の中には、なかなか目にする事のできない貴重な品もあり、釧路管内の市町村にもご協力をい

ただいております。また、私設博物館「なつかし館」にも協力を依頼中ですが、博物館でもお目にかかれない品も多く収蔵されている事から、どのような展示物をお借りできるか現在、調整をしているところです。

目で見るだけではなく、体験するコーナーやイベントも充実させる予定です。

キッズコーナーには、端材を利用して「大工さん気分」を味わえる工作ブースや、釧路支部が長年取り組んできた「折紙建築」のコーナーを設けるとともに、子供だけでなく、一般来場者も気軽に参加できる「もちまき」イベントも計画中です。

近年、執り行われる事が少なくなった上棟式での神事を紹介しつつ、駅舎の庇から広場に向けて「もちまき」を行い、多くの市民に懐かしい上棟式の様子を味わって頂こうと企画しております。

釧路支部の会員だけでなく、賛助会員企業の皆様やメーカーの方々、市民、行政の方々などたくさんの方にご協力を頂き、展示会を成功させようと、担当者は粉骨砕身励んでいるところです。

特別活動費にご採択いただいた事も、大きな力となっており、助成した甲斐がある事業であったと感じて頂けるように準備を進めているところです。

新型コロナウイルスの感染状況も今後どのように変化するかわかりませんが、この夏、道東へお越しになる予定があれば、是非、釧路へお越しになり、駅舎で展示されている「あゆみ展」をご覧いただければ幸いです。



期日：2022年7月10日（日）～18日（月）

時間：9：00～17：00

会場：JR釧路駅 2階 展示スペース

# 木材を外装材に用いた防火構造外壁の開発

## — その2 大臣認定を取得した「北総研防火木外壁」と

### 上川地域水平連携協議会の取り組み —

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 建築研究本部  
北方建築総合研究所 研究主幹 糸毛 治

#### 1. はじめに

外装材に道産木材を使いたいという要望は多く寄せられますが、建築基準法の防火規制により使える条件が大きく制限されます。一方、北海道で普及する付加断熱外壁は、設置される断熱材も壁厚も厚く、この特徴を生かせば、高い防火性能を実現できます。

北方建築総合研究所では、この点に着目して林産試験場と共同で研究開発(平成29年度～令和元年度)に取り組み、「防火構造」の大臣認定を取得できる木外装付加断熱外壁を開発しました。この研究内容は、「北海道建築士」2019.11.No.267で報告いたしました。

その後、開発した木造外壁は、断熱材メーカー各社の協力を得て、防火構造の大臣認定を取得することができました。北方建築総合研究所では、この大臣認定を取得した防火構造外壁を「北総研防火木外壁」と命名し、北海道内をはじめ全国の建築事業者に向けて普及活動を行っております。

また上川地域の製材業を中心に企業8社で構成された上川地域水平連携協議会では、この北総研防火木外壁に対応したトドマツ外装材を製品化しております。

本報では、上川地域水平連携協議会が提供するトドマツ外装材の普及活動の取り組みも含め、今回、防火構造の大臣認定を取得した「北総研防火木外壁」についてご紹介いたします。

#### 2. 「北総研防火木外壁」について

北総研防火木外壁は、付加断熱材の仕様ごとに断熱材メーカーが組織する協会・工業会が申請者となり、全4種類の大臣認定を取得しております(表1)。北総研防火木外壁は、すでに建築事業者の皆様より好評をいただいております、多くの採用実績があります(写真1)。

北総研防火木外壁の大臣認定は、どなたでも無料でお使いいただけます。大臣認定書をご要望の際には、付加断熱材に応じて、各断熱材メーカーの担当者にお問い合わせください。



写真1 北総研防火木外壁の適用物件

表1 防火構造の大臣認定を取得した「北総研防火木外壁」一覧

	北総研防火木外壁 (PF仕様)	北総研防火木外壁 (PS仕様)	北総研防火木外壁 (GW・RW仕様)	北総研防火木外壁 (枠組PF仕様)	
工法	木造軸組工法			枠組壁工法	
付加断熱材	フェノールフォーム	ポリスチレンフォーム (押出法・ビーズ法)	グラスウール・ ロックウール	フェノールフォーム	
大臣認定	申請者	旭化成建材 (フェノールフォーム協会)	押出発泡ポリスチレン工業会 発泡スチロール協会	硝子繊維協会 ロックウール工業会	旭化成建材 (フェノールフォーム協会)
	認定番号	PC030BE-3846 (1), (2), (3), (4)	PC030BE-3884 (1), (2) PC030BE-3885 (1), (2) PC030BE-3886 (1), (2) PC030BE-3887 (1), (2)	PC030BE-3890 PC030BE-3891	PC030BE-3908 (1), (2), (3), (4)
	取得日	令和2年4月13日	令和2年9月11日	令和2年10月16日	令和3年2月17日

但し、今回の大臣認定は、いずれも外壁仕様ごとの個別認定で、部材ごとに使える建材と留付け材の種類や寸法の範囲がすべて決まっています。大臣認定の範囲から1つでも外れると、建築基準法違反になりますのでご注意ください。大臣認定をお使いいただく場合は、大臣認定書の記載内容を必ずご確認ください。

### 3. 「北総研防火木外壁」のメリット

北総研防火木外壁には、次に示す(1)～(6)のメリットがあります。

#### (1) 建築できる範囲の拡大

北総研防火木外壁は、建築基準法上の防火構造として用いることができます。そのため、建築基準法で指定される法22条区域の延焼のおそれのある部分や準防火地域であっても、外装材に木材を用いて建築できるようになりました。特に都市部での建築では、外装デザインの自由度がひろがりました。

#### (2) 外壁施工の合理化・コスト削減

北総研防火木外壁は、北海道で広く普及する付加断熱工法の外壁構成になっており、一般的な施工法で実現できます。特に、これまで外装材に木材を用いる際に施工していた不燃性の外装下地材が不要となります。これにより、建築コストを削減できるだけでなく、窯業系サイディング等の他の外装材と横並びの中で、外装材に木材を選択できるようになりました。

#### (3) 火災保険料の低減

(独)住宅金融支援機構の「省令準耐火構造」は、外壁・軒裏を防火構造、屋根を不燃材料とし、小屋裏や階間への延焼遅延、各室防火のための処置を行うことで、火災保険料の算定上、準耐火建築物相当とみなされる制度です。この制度の適用により、火災保険料は概ね6～7割程度に軽減されます。この省令準耐火構造と北総研防火木外壁の併用により、外装材を木材としながら火災保険料を低く抑えることができます。

#### (4) デザイン性に富む木外装

外装材に用いる木材は、厚さ15mm以上、幅100mm以上とし、樹種による制限はありません。塗装も自由に選べ、防火薬剤処理も必要ありません。木材の張り方、目地の形状も各種対応し、板材だけでなく木質サイディングも使えますので、多様なデザインに対応できます。

#### (5) 国産・道産木材の利用促進への貢献

北総研防火木外壁は、外装材用途での国産・道産木材を利用でき、近年、政策的にも推進されているカーボンニュートラル、循環型社会の実現にも貢献します。例えば、戸建住宅の外壁全面で、木材を外装材とした場合、住宅1棟あたりの木材使用量は約4㎡、山から切り出される丸太に換算すると約10㎡になります。

#### (6) 良質な街並みの形成

外装材用途での木材利用は、人の目が留まるところに木材を使いますので、住宅だけでなく店舗建築など街なかの建築が、新たなターゲットになります。街なかに木外装の建築が増えていけば、多くの方が暮らしの中で木材表面の質感や手触りを実感でき、良質な街並み景観の形成につながります。

### 4. 上川地域水平連携協議会の取り組み

上川地域水平連携協議会は、北海道の中央部、上川地域で製材、プレカット、住宅建設、家具製造を営む企業8社が連携し、上川地域のトドマツを活用した製品開発を行う団体です。

上川地域水平連携協議会では、今回、「北総研防火木外壁」を発表すると、その有用性を評価し、すぐに大臣認定の仕様範囲に合致する上川産トドマツ外装材を製品化しています(写真2)。さらに技術資料、パンフレットの作成、2021北海道ビジネスEXPOへの出展などに取り組み、北総研防火木外壁を活用した上川産トドマツ外装材の普及に努めています<sup>注)</sup>。

北海道建築士会の皆様には、上川地域水平連携協議会が作成した技術資料(写真3)とパンフレット(写真4)を「北海道建築士」2021.2.No.282発送の際に同封して、すでにお送りしております。お手元に届いていると思いますので、是非ご参照ください。

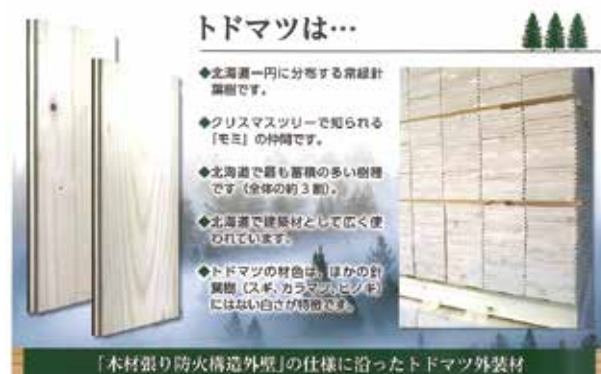


写真2 上川産トドマツ外装材



写真3 技術資料



写真4 パンフレット

### 5. まとめ

「北海道建築士」2019.11.No.267で報告した木外装付加断熱外壁の研究開発の成果は、大臣認定を取得し「北総研防火木外壁」として、皆様に使っていただけるようになりました。上川産のトドマツ外装材と併せて、是非、採用をご検討ください。

注) 上川地域水平連携協議会では、「北総研防火木外壁」を「防火木外壁」又は「木材張り防火構造外壁」の名称で普及に努めています。

自習型認定研修の設問は、P8に記載しています

# 新入会員紹介 ようこそ建築士会へ

一緒に楽しんで、学んで、  
そして発信しましょう！

初代会から30年ぶりに訳あって出戻って参りました新人です

牧野 准子（札幌支部）



- 勤務先・仕事内容：ユニバーサルデザイン(南環工房 代表取締役 平成9年設立 (今年創業25年))
- 入会年月日：令和3年2月
- 建築士会での活動：今はまだありません。強いて言えば昨年、北海道建築士会のまちづくりセミナーで講師をさせていただいたことぐらい。
- 建築士会入会のきっかけ：札幌市の職員様に背中を押されました。

## 自己PR

平成4年に試験合格と共に一度入会をいたしました。女性部会にも入れていただき、たくさんの学びや楽しい思い出がたくさんあります。中でも、当時、チャリティービールパーティーに参加して、抽選会でサクラランボの苗木が当たったこと。くじ運がほとんどない私には、とても嬉しくて「持てない人は置いていってもいい。後から取りに来ていい」ということでしたが、私の背丈よりもあるその苗木を大事に2次会、3次会も誘っていただいたので笑われながらも、抱えて連れていきました。

帰宅後、枯れては困ると暗い深夜に庭に穴を掘り、大切に植えました。誰かが見ていたら怪しい犯罪者のようだったかもしれません。朝になり、子ども達に「サクラランボを植えたよ。早く実がなればいいね」と自慢げに見せ、数年後には大きな木になり、実がなったときの感動は、今でも忘れません。仕事で模型の依頼をいただき、自分の作った模型と実際の建物が同じように出来上がっていくのを見て、ワクワクもしました。

建築は住む人の人生も変えてしまうくらい重要な環境づくりだと考えています。私は平成17年、北海道イ

ンテリアコーディネーター協会会長就任時に仕事が楽しくて寝ないで働いていたなら、脊髄の進行性の難病を発症し車いすユーザーとなり、人生が180度変わりました。一時は落ち込み人生に悲観し、自分はもう駄目だと思ひ込み、建築士会も退会しました。

その後、様々な経験を経て、住環境を整えることで生きる意欲や自立に繋がることを実感し、今は車いす建築士としてその普及に努めています。出戻りですが、どうぞよろしくお願ひいたします。

## 目標に向かって一歩ずつ

山崎 勝裕（桧山支部）



- 勤務先・仕事内容：住宅設計、現場管理、建築大工など
- 入会年月日：令和3年2月
- 建築士会での活動：まだありません
- 建築士会入会のきっかけ：社長からのお誘い

## 自己PR

はじめまして。昨年2月に建築士会に入会した山崎勝裕です。よろしくお願ひいたします。

まだ幼かった頃の話になりますが、夜になると自宅の2階へあがる父の後をこっそりつけていき、部屋を覗き込むと時計の秒針が聞こえてくるほどの静かな部屋で、真剣にドラフターで図面を描いている姿を見て、自分もやってみたい!と思ったのを今でも憶えています。

高校卒業後、今の会社に就職し大工の見習いからはじまり、施工管理、

設計補助など色々経験させてもらいました。

その後、資格予備校に通ったのですが、同じく仕事をしながら通学している人たちと一緒に勉強したことも本当に良い経験、自分の財産になったと思っています。

ようやく建築士としてのスタートラインに立てましたが、建築設計はもちろん、建築確認申請業務で悩むこともあり、毎日勉強していかないとならないのだなと実感し、「この仕事大変だわ。」なんて思うこともあります。幼かった頃に夢みた仕

事ができていることを思い出すと不思議とやりきれています。

私の住んでいる、せたな町は建築士の人数も少なく、この会に入会するまでは建築士間の交流の機会もほとんどありませんでしたが、今回、建築士会に入会してから、町外の建築士の方から自身の経験談を聞かせてもらえる機会もありました。

まだまだ建築士としてはじまったばかりですが、地域や社会に貢献できるように、そしてまずあの静かな部屋で図面を描いていた背中に追いつくことを目標に頑張っていきたいと思ひます。

## よろしくお願ひ致します

工藤 正志（釧路支部）



- 勤務先・仕事内容：釧路市議会議員
- 入会年月日：令和4年1月
- 建築士会での活動：まだありません
- 建築士会入会のきっかけ：議会での建築に関連する質問（空き家対策・空きビル対策も含む）のスキルアップのために

## 自己PR

初めまして!今年の1月に入会させていただきました工藤正志と申します。私は、2015年4月に釧路市議会議員に当選してから、現在2期目をさせていただいております。

釧路市議会では、現在「経済建設常任委員会」委員と釧路の産業である「石炭対策・関連エネルギー調査特別委員会」の副委員長を拝命しております。

「経済建設常任委員会」では、釧路市の水産港湾空港部・産業振興部・住宅都市部・都市整備部・上下

水道部と議論・審査させていただいており、2月・6月・9月・12月にある議会での一般質問や委員会審査では、とにかく情報を集めることが必要で、こうした情報量の多い・少ないが質問の内容に直結すると考えております。

とりわけ私が力を入れているのが、住宅都市部での「空き家・空きビル対策」や「市営住宅」を重点的に行っております。北海道の他の自治体で、私の街では、こんな取り組みをしていますといった情報を、ぜひお寄せいただけたらと思ひます。

よろしくお願ひ致します。

私は、1991年に大学の建築学科を卒業し、(株)土屋ホームに入社し、2級建築士を取得し、営業・施工管理・メンテナンス・積算業務をひと通り経験しました。2009年には札幌から故郷の釧路市に戻り、現在に至っております。

2年後には、道東自動車道が釧路西ICまで開通する予定です。ぜひ新鮮でおいしい海鮮丼など食べに、釧路まで足を延ばしてみませんか?

## 宗谷支部

### 最近の宗谷支部

支部長  
小野 孝



この会誌が発刊されるのが4月下旬とのことで、原稿は3月中旬に書いています。今年の稚内は1月に大雪に見舞われましたが2月は比較的穏やかな日が多かったように思います。そんな冬ももうすぐ終わり、春が待ち遠しい季節となりました。稚内で桜が咲くのは5月です。日本で一番遅い桜前線として根室市と毎年競っていますが今年はこちらになるのでしょうか。

少し前の話になりますが、平成30年に稚内市の歴史的建造物である稚内市の恵北地区に残る旧海軍の送信所跡地「稚内赤れんが通信所」に支部創立60周年を記念して桜を10本植樹しました。翌年には植樹した桜の成長と稚内赤れんが通信所を眺めながらジンギスカンを囲んで「桜の親睦会」を開催しました。

樹が若いのでまだ花は咲かないのですが、鹿などからの被害にあわずに葉はつけていたので成長を楽しみにしていましたが、コロナ禍になってから親睦会が開催出来ていないので非常に残念です。

令和元年には「稚内赤れんが通信所」の崩れた外壁レンガの一部

を積み直す事業を行いました、これとは別に「稚内歴史まち・研究会」が公益財団法人太陽財団から助成金1千万円を受け改修工事を行いました。

太陽財団のテレビCMでこの事業も放送されていましたのでご覧になった方も多いかと思いますが、QRコードからご覧になれるので良かったらご覧になって下さい。

少し前の話ばかりしてしまいましたが、去る1月29日に開催された令和4年度第69回宗谷支部通常総会にて、片山前支部長より支部長の任を引継ぎさせて頂くこととなりました。

思えば昭和63年に入会し、平成11年から4年間は道の青年委員会、平成15年から2年間は支部青年部長、平成22年から昨年まで支部事務局長を務めさせて頂き、各地で開催される青年の集いや全道大会、全国大会に沢山参加させて

頂きました。

それらの活動の中から各方面で活躍されておられる方々と交流させて頂き頂きました。このような貴重な経験は、建築士会で活動していなかったら出来なかったと感謝しております。

コロナ禍となり、大会も延期や中止となり、支部の活動も自粛傾向が強くなり、親睦の機会が減ってしまい、建築士会で得られる貴重な体験の場が減っていることは非常に残念なことです。

不安定な環境の中での船出とはなりますが、新しい役員と共にこれまで支部を支えて下さいました方々の活動を引継ぎ、次世代へ繋げて参りたいと考えております。

稚内の桜が咲く頃、植樹した桜の成長と稚内赤れんが通信所を眺めながらジンギスカンを囲んで「桜の親睦会」が今年は開催出来ることを願っております。



植樹した桜の様子（令和3年5月撮影）



太陽グループ企業CM  
稚内・紋別編

## 斜里支部

### コロナ禍前の斜里支部の活動

事務局長  
中花 繁昌



昨年度、本年度は新型コロナウイルスの影響で未だに建築士会の活動ができていません。地元で活動していると大変と感ずることもありますが、コロナ禍の影響で活動が全くできていないので、物足りなさを感じるこの頃です。1日も早くコロナが終息してくれることを願います。

今回はいままでの斜里支部の活動を紹介したいと思います。

はじめに、毎年8月に参加していた斜里町商工観光課主催の『楽市・楽座』という夏のイベントに参加しておりました。イベントの内容は道の駅にて、地元の飲食店や団体が屋台形式で露店を出店し、地元バンドの演奏や、大縄跳びなどさまざまな催しを行って

ました。

斜里建築士会では地場産の食材を使用した窯焼きピザを販売しました。本格窯で焼きたてを提供して大変評判がよいので、コロナが終息の兆しがありましたら、ぜひ皆様も機会があれば来町お願いします。

ひとつは、時期は不定ですが児童館にて巣箱手作り教室を行ったり、木製のイスの製作を行い、子どもたちに物作りの楽しさを知り、将来のこの子たちの中から建築の仕事に興味を持ち建築士を目指す子が出てくれたら嬉しい限りです。

次に、町内会から依頼され斜里町来運地区にある来運神社の絵馬掛けの更新事業など、さまざまな地域貢献事業を行っておりました。

このような事業を通じて子どもたち、地域の方々と親睦を図り、斜里建築士会の活動を少しでも理解して頂けるよう取り組みを行

い、支部内の懇親も深まり良かったと思います。

このような事業・イベントに参加しメンバーと話すのは決まってくる話題は若いメンバーが不足しているということです。

どこの支部も共通した課題とは思いますが、コロナが終息したらできる限りの活動を行い会員相互間の親睦を含め、地域に根ざした活動を目指し取り組んで行きたいと思っております。



来運神社絵馬掛け所更新事業  
(H.30.6.30撮)

## 道士会の動き

### 道本部の主な会議報告（4月）

- ◆第1回事業委員会（web併用）  
（開催日）2日（土）
  - 1) 令和4年事業委員会 事業計画及び収支予算
  - 2) 令和4年「特別活動費」助成事業
  - 3) 改正宅地建物取引業法に対応した「既存住宅状況調査技術者講習」の開催
  - 4) 中大規模木造設計セミナー
  - 5) その他
- ◆第2回四役会議  
（開催日）7日（木）
  - 1) 四役の役割分担
  - 2) その他
- ◆第1回情報委員会（web併用）  
（開催日）9日（土）
  - 1) 会誌「北海道建築士」  
7月以降の掲載記事を策定
  - 2) その他
- ◆第2回女性小委員会  
（開催日）13日（水）
  - 1) 「全道大会A分科会について」
- ◆第2回青年委員会  
（開催日）16日（土）
  - 1) 全道青年委員会連絡会議の振り返り
  - 2) 青年建築士の集い（室蘭）
  - 3) 建築士の日イベント
  - 4) 全道大会青年サミット
  - 5) 全道大会C分科会
  - 6) 今後のブロック協議会の開催
  - 7) その他

### 本部の主な行事予定（5月）

20日（金） 第3回理事会

### 関係機関等会議参加予定（5月）

16日（月） 建築CPD運営会議（東京）  
25日（水） 役員候補者選考委員会（東京）  
上記 高野会長

## 講習会・セミナーのご案内（5月）

### 監理技術者講習

18日（水） 札幌市

### 建築士定期講習

19日（木） 旭川市  
24日（火） 札幌市

## 編集後記

5/2（月）と5/6（金）を休めば、10連休のゴールデンウィークを楽しんでいる会員の方々もいらっしゃるのではないのでしょうか？私は、今年のGWには待ちに待った山登りデビューをすると決め、数年前から徐々にグッズ集めをしていました。せっかくなので7月に開催される「釧路の建築70年あゆみ展」に参加し、おいしい食べ物＆登山＆旅行を楽しんでみたいです。欲を言えば、釧路支部の皆様とも交流を深めてみたいです。ね！

情報委員会 境谷 香奈（恵庭支部）



## 会誌「北海道建築士」 CPD単位登録のご案内

CPD自習型認定研修の設問は、下記の手順でCPD単位登録を行ってください。

- ① CPD情報システムにログインをします。
  - ② 自己申請の建築士会CPDメニューよりweb講習会/認定教材研修申請の形態 [自己学習型[02]専門書誌等] を押します。
  - ③ CPD番号、氏名を確認し、必要欄を入力します。
  - ④ web講習会自習型教材メニューから「北海道建築士」を選択します。
  - ⑤ 設問への解答を選択します。
  - ⑥ 入力後、「次へ」を押します。
  - ⑦ 確認画面より「申請する」を押し、完了です。
- 注) 不正解の場合は登録できません。

### CPD 自習型認定研修の設問

P4-5 木材を外装材に用いた防火構造外壁の開発  
北海道建築士 No.297  
2022/5/1 単位：1



**設問** 防火構造の大臣認定を取得した「北総研防火木外壁」で付加断熱材に用いることができる断熱材として、不適切なものはどれか。

- |                  |                   |
|------------------|-------------------|
| a. 押出法ポリスチレンフォーム | b. ビーズ法ポリスチレンフォーム |
| c. 硬質ウレタンフォーム    | d. フェノールフォーム      |
| e. グラスウール        | f. ロックウール         |

※不正解の場合は、単位に登録できません。

### CPD認定プログラム(4月認定)

プログラム認定はありませんでした。

### “会員専用ページ”でオンデマンド配信中！



■視聴方法：北海道建築士会HPの上記「会員専用ページ」をクリックしパスワードを入力

■5月パスワード：Kis019

情報委員会委員長／森 勝利  
副委員長／前田 繁・立花智亜喜  
委員／今村 敏彦・境谷 香奈・角張 隆昌  
村山 賢司・徳留 裕敏

### 北海道建築士 No.297号

印刷 令和4年4月／発行 令和4年5月

編集・発行 一般社団法人 北海道建築士会  
〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地  
大五ビル  
電話 (011) 251-6076番  
URL <https://www.h-ab.com/>

印刷 株式会社 正文舎  
〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目  
電話 (011) 811-7151番